

1、経営発達支援事業

※達成度 A:90%以上、B:70~89%、C:50~69%、D:30~49%、E:30%未満

項 目	実施状況	成果および課題	達成度	外部評価
I 地域の経済動向調査	<p>伴走型の小規模企業支援事業を効果的に推進するためには、域経済状況と経営課題の把握が課題である。この課題について以下の事業を実施した。</p> <p>①地域金融機関の景況調査を利用して、地域の景気動向を7月、12月に調査・分析した。業種別、規模別景況DIを抽出して、小規模事業者の現状と課題を把握した。</p> <p>②地域小規模事業者の経営の現状を把握するために、経営指導員による巡回指導に合わせて、小模事業者経営実態調査を7月、12月に実施した。</p> <p>調査対象企業を、地区別・業種別に選定し経営指導員一人15社、合計75社を継続的に調査した。調査項目は、「売上」「仕入」「利益」「資金繰り」「雇用動向」とし、調査結果を分析し課題を抽出した。</p>	<p>小模事業者経営実態調査件数は、毎年経営指導員一人当たり15件。</p> <p>内訳は、地区内商工業者の構成比を考慮して、建設業4件、製造業6件(うち4件は自動車関連)、小売業2件、飲食業1件、サービス業2件。</p> <p>専門家に集計分析を委託。調査結果を、商工会員に配布し、商工会ホームページに公開するとともに、セミナー開催時に配布した。また、経営指導員の相談指導時に利用した。</p>	A	<p>①経営指導員が会員企業を訪問調査することにより、直接各企業の景況感に触れた。</p> <p>その上で、自分達の調査結果を集計・分析した結果と地域金融機関の景況調査の双方から磐田地域内の景況を把握した意義は大きい。</p> <p>②調査結果の活用では、商工会員に配布すると同時に、磐田市商工会ホームページ上でも情報発信したことは新しい「情報提供サービス」として評価できる。</p> <p>③経営指導員が巡回指導に当たって、当該調査データを活用することにより、従来よりも一段と効果的な相談指導ができた。</p> <p>④平成28年度の調査は6、10、12月の3回であったが、「前回聴取時とはあまり変わっていない」との回答が多かった為、今年度は6、12月の2回に変更した。調査分析した結果から、2回に変更しても調査目的は果たせたと判断します。</p>

II 経営分析・需要動向調査

①巡回窓口指導等の経営改善普及事業により経営分析の必要な小規模事業者を抽出し、経営資源の内容、財務内容等の経営状況を把握し、他の支援機関と連携して貸借対照表、損益計算書、キャッシュフロー計算書等をもとに経営分析を行い持続化補助金申請につなげた。

②新分野進出が課題の小規模事業者の指導を効果手的に実施するために、地域の大手企業とのヒアリングを通じて集めた需要動向等を整理・分析し、経営指導員の巡回窓口指導のなかで提供した。

(目標と実績)

支援内容	目 標	実 績
巡回指導件数	2,000 件	1,500 件
講習会開催数	20 回	8 回
経営分析数	100 件	50 件
大手企業ヒアリング	5 件	5 件
開放特許の利用件数	3 件	0 件

経営分析件数は、「マル経資金」あっせん件数とした。

B

①巡回指導は目標 2000 回に対し実績は 1,500 回であった。目標回数は下回ったが会員の経営改善に大きな貢献をした。また、巡回指導を行い会員企業の状況把握ができたことは、持続化補助金の案内や経営革新支援活動につながった効果もある

②経営分析件数（「マル経資金」あっせん件数）は、達成率 50% と低く、対象者の掘り起しが課題である。

③地域の大手企業 5 社を聴取調査した。得られた情報は大手企業と中小企業とのマッチングなどの面で活用が期待される。

④開放特許の利用に関しては、会員企業への案内を行ったが、要望はなかった。

項 目	実施状況	成果および課題	達成度	外部評価																		
III 事業計画の策定・実施支援	<p>小規模事業者が経営課題を解決するためには、地域経済動向調査、経営分析・需要動向調査等の結果を踏まえ、小規模事業者自らが作成する事業計画策定が課題となっている。この課題について以下の事業を実施した。</p> <p>①事業計画策定等に関する講習会の開催により、事業計画策定を目指す小規模事業者の掘り起こしを行った。</p> <p>②巡回指導、窓口指導時に、小規模事業者から相談を受けるとともに、事業計画策定を目指す小規模事業者の掘り起こしを行った。</p> <p>③事業計画策定を目指す小規模事業者の他、金融相談、ものづくり補助金、持続化補助金の申請時に事業計画の策定支援を行った。</p> <p>④小規模事業者の金融相談指導においては、日本政策金融公庫の従来からの「マル経」に加え「小規模事業者経営発達支援融資制度」の活用を促進し、相談は2件あったが、申込みには至らなかった。</p> <p>⑤事業計画策定後に、経営指導員によるフォローアップを実施し事業計画の進捗状況の確認を行うとともに、必要な指導・助言を行った。</p>	<table border="1" data-bbox="1003 252 1568 507"> <thead> <tr> <th>支援内容</th> <th>目 標</th> <th>実 績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>経営計画策定講習会</td> <td>5 回</td> <td>4 回</td> </tr> <tr> <td>事業計画策定事業者数</td> <td>50 件</td> <td>86 件</td> </tr> <tr> <td>フォローアップ</td> <td>100 回</td> <td>172 回</td> </tr> <tr> <td>新融資制度のあっせん数</td> <td>10 件</td> <td>1 件</td> </tr> <tr> <td>融資のフォローアップ</td> <td>20 回</td> <td>2 回</td> </tr> </tbody> </table> <p>※「事業計画策定事業者数」は、持続化補助金及び経営力向上事業費補助金の申請者数 ※「フォローアップ数」は、事業計画策定事業者数×2回（86×2=172）</p>	支援内容	目 標	実 績	経営計画策定講習会	5 回	4 回	事業計画策定事業者数	50 件	86 件	フォローアップ	100 回	172 回	新融資制度のあっせん数	10 件	1 件	融資のフォローアップ	20 回	2 回	A	<p>①経営計画策定講習会を4回開催し、実践的な支援ができた。</p> <p>②事業計画策定を目指す小規模事業者を掘り起こし、63社に対して持続化補助金申請の策定支援まで行った。</p> <p>③事業計画策定後の経営指導員によるフォローアップを、目標100回を上回って172回実施した。事業計画の進捗状況の確認を行うとともに、必要な指導・助言を行ったことは大いに評価できる。</p> <p>④新融資制度に関しては、会員企業への案内を行ったが、他の制度を利用する企業が多く、新融資制度の斡旋は1件であった。融資のフォローアップは2件であった。</p>
支援内容	目 標	実 績																				
経営計画策定講習会	5 回	4 回																				
事業計画策定事業者数	50 件	86 件																				
フォローアップ	100 回	172 回																				
新融資制度のあっせん数	10 件	1 件																				
融資のフォローアップ	20 回	2 回																				

IV 創業・経営革新支援

- ①経営革新個別相談会は実施できなかったが、県連の専門家派遣事業を積極的に活用して小規模事業者の経営革新計画の策定を支援し、計画承認に結び付けた。
- ②経営革新計画承認後、経営指導員によるフォローアップを徹底し、伴走型の支援を行った。
- ③浅羽町商工会、森町商工会と連携して広域的に創業セミナーを開催して、創業希望者の経営に関する知識の向上を図り、創業計画の策定支援を行った。
- ④創業後は、経営指導員によるフォローアップ、専門指導員による税務相談を重点的に行い、伴走型の支援を実施した。

支援内容	目標	実績
経営革新個別相談会	10回	0回
専門家派遣件数	60回	81回
経営革新承認数	5件	7件
持続化補助金申請件数	30件	63件
フォローアップ	5回	63回
創業塾開催回数	1回	1回
創業支援者数	5件	1件
事業承継相談会	1回	0回
事業承継支援件数	5件	3件

A

- ①経営革新個別相談会に代わる支援として県連の専門家派遣事業を積極的に活用し、経営革新計画の策定を支援した。
- ②経営革新承認数は目標5件を上回り、7件であった。承認後のフォローアップを充実させたことは評価できる。
- ③持続化補助金申請件数は目標30件に対して、63件の申請支援を行った。持続化補助金は多くの会員企業が期待しているものであり、当活動は大いに評価できる。
- ④創業塾は浅羽・森商工会と共同開催した。3回シリーズとし、参加者から「具体的かつ実現可能な知識の習得ができた」との評価を得ている。また、参加者は15人。参加者には継続してフォローアップを行っている。
- ⑤創業後の経営指導員によるフォローアップ、専門指導員による税務相談を重点的に実施していることは重要な活動であり評価できる。
- ⑥事業承継に関しては、相談会は行わなかったが、個別に3件の支援を行っている。

項 目	実施状況	成果および課題	達成度	外部評価												
V 小規模事業者販路開拓支援	<p>①小規模事業者のための販路開拓セミナーを開催した。</p> <p>②磐田市、磐田商工会議所と連携して「いわた産業振興フェア」を開催し、小規模事業者の販路開拓を支援するとともに、「魅力産業創造都市いわた」の認知度の向上を図った。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>支援内容</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>販路開拓セミナー</td> <td>2回</td> <td>2回</td> </tr> <tr> <td>展示・商談会開催</td> <td>1回</td> <td>1回</td> </tr> <tr> <td>地区外展示会出展支援</td> <td>5社</td> <td>0社</td> </tr> </tbody> </table>	支援内容	目標	実績	販路開拓セミナー	2回	2回	展示・商談会開催	1回	1回	地区外展示会出展支援	5社	0社	B	<p>①販路開拓セミナーは2回シリーズとした。SNS活用を含む内容であり、小規模事業者の新規受注拡大と新分野進出に役立つ内容であった。</p> <p>②「いわた産業振興フェア」には会員企業が多数出展した。自社をアピールできる機会となり、販路開拓の一助になった。</p> <p>③地区外展示会出展支援については、随時情報を提供した。出展希望者は独力で推進し支援の要望はなかった。</p>
支援内容	目標	実績														
販路開拓セミナー	2回	2回														
展示・商談会開催	1回	1回														
地区外展示会出展支援	5社	0社														

2. 地域経済の活性化に資する取り組み

項 目	実施状況	成果および課題	達成度	外部評価									
I 地域経済活性化事業	<p>磐田市、磐田市観光協会、磐田商工会議所と「磐田市活性化会議」（仮称）を年4回開催し、磐田市産業振興計画との整合性を図りながら今後の地域経済活性化の方向性を検討する計画であったが、実施できなかった。しかし、磐田市主催の「産業振興計画」検証のための「魅力支援会議」（3回）に参加した。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>支援内容</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>地域活性化会議開催</td> <td>4回</td> <td>0回</td> </tr> <tr> <td>新地域活性化事業</td> <td>試行開催</td> <td>開催なし</td> </tr> </tbody> </table>	支援内容	目標	実績	地域活性化会議開催	4回	0回	新地域活性化事業	試行開催	開催なし	D	<p>①地域活性化会議は開催できなかったが、磐田市主催の「魅力支援会議」に3回参加した。</p> <p>②地域経済活性化のための重要な課題に「中小企業の事業承継」があります。他機関と連携して取り組みを検討しては如何でしょうか。</p>
支援内容	目標	実績											
地域活性化会議開催	4回	0回											
新地域活性化事業	試行開催	開催なし											

<p>Ⅱ いわたスイーツコンテストを契機とした特産品開発事業</p>	<p>いわたスイーツ推進委員会を開催し開発の方向性を検討した。 その結果、29年度は、生産量日本一を誇る「海老芋」を素材とした特産品の開発に着手することを決定し、各種イベントで「海老芋」を宣伝した。 スイーツに限定しない特産品開発を進めることとなったためスイーツコンテストは開催しなかった。</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>支援内容</th> <th>目標</th> <th>実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>スイーツコンテスト</td> <td>1回</td> <td>0回</td> </tr> <tr> <td>推進委員会</td> <td>8回</td> <td>8回</td> </tr> </tbody> </table>	支援内容	目標	実績	スイーツコンテスト	1回	0回	推進委員会	8回	8回	<p>A</p>	<p>①特産品開発の対象を「海老芋を素材とした特産品の開発」にしぼり、委員会活動を推進している。 特産品を開発するには継続的な取り組みが必要であり、引き続き事業を進展させることを期待します。</p>
支援内容	目標	実績											
スイーツコンテスト	1回	0回											
推進委員会	8回	8回											